

# 新年のごあいさつ



風間浦村長 小野 慎一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
平成十五年は、二十一世紀三年目の年となります。  
「豊かで住みよい活力ある村づくり」のため、全力を傾注して取り組んで参る所存であります。

## 「漁業施設の整備促進」

### 一、産業振興への対応

年次計画で進めております各漁港の整備につきまして

は、平成十五年度において、下風呂漁港につきましては、当初要望額としておよそ二億円を計上することとし、他の易国間、桑畑両漁港につきましては、平成十四年度完成をもって終了いたします。

漁船漁業を主体といたしまして下風呂漁港につきましては、今後、安全なる泊地の確保、拡大、更には、上架施設等の整備につきましても、充当地元漁協、県、国との協議を経て、安全操業、操業時間の拡大、高齢化に対する安定した漁港づくりが課題となりますので、漁家経済の安定を計るためにも鋭意努力してまいりたいと存じます。

漁業振興では、あわび、キタムラサキウニ、エゾバフンウニ、コンブ等の稚貝、稚子、種苗生産による養殖につきましても、各漁協の積極的な取り組みと、時代のニーズに併せ、充分協議しながら、予定数量を次のように計画しております。

一組合当り、あわび稚貝(30ミリサイズ)一三五、〇〇個、キタムラサキウニ稚子(15ミリサイズ)六七、〇〇個、こんぶ種苗糸一、四

〇〇米を予定しております。これら根付漁業、磯資源の保護、増殖を計ることが漁業振興、漁家経済の安定に大きく結びつくものと強く思っています。

平成十二年度から十八年度まで継続事業で実施しております県営事業の「下風呂海岸高潮対策事業」(人工リーフ)につきましても、平成十五年度も引き続き実施することとなっており、完了しました人工リーフには、こんぶ、あわび等の付着が大きく見られることから、今後の成果が期待されるところであります。

鳥獣害防止施設整備事業につきましては、県単事業としては平成十四年度をもって廃止となりましたが代って里地棚田保全整備事業として猿・カモシカの農作物被害対策のため、県が事業主体となり実施する予定であり、村負担金

は事業費の二〇%充当予定で継続して実施したいと考えております。

小規模治山事業につきましては、湯ノ上地区外三件について県単事業で概算事業費一千五百万円、山腹工〇・〇五ヘクタールを予定しております。

ニ夕川線林道舗装事業(県単)につきましては、概算事業費四百十万円、舗装工四〇〇米を予定しております。

次にふるさと農道緊急整備事業につきましては、五年継続事業として、蛇浦地区の根戸内から、古釜谷平間の農道整備計画で県が事業主体となり実施する予定となっております。村負担金は事業費の二五%となっております。

## 「保健・医療・福祉事業の促進」

### 二、保健・医療・福祉対策

住みなれた土地で、誰もが安心して生活できる地域社会の実現をめざし、保健・医療・福祉の各分野が連携を圖り、総合的かつ一体的な施策を実施してまいります。

特に少子高齢社会の現状を踏まえ、行財政改革の重点策